３時〜３時半　タンさん＆松田さん

タ：はじめまして。私はUCSD４年生の学生タンと申します。

松：タンさん、松田です。

タ：どうぞよろしくお願いいたします。

松：よろしくお願いします。

タ：松田さん？

松：はい、そうです。

タ：松田さんはいつサンディエゴにいらっしゃいますか。

松：あ、えっと。去年。去年の７月に来ました。

タ：ああ、半年ぐらいですね。

松：そうですね。

タ：私はもうここ５年ぐらいです。

松：いいですね。

タ：すぐに卒業になりました。ちょっと

松：すぐに卒業？

タ：はい。今年の６月に卒業するつもりです。

松：もうすぐ卒業なんですか。

タ：はい、４年生ですから。はい。松田さんは、どこ、ご出身はどちらですか。

松：出身は埼玉です。

タ：埼玉。ああ、すみません。そうですか。埼玉はどこの町ですか。聞いたことない。

松：聞いたことないですか。あら、残念。埼玉は東京の北に。

タ：ああ。はい。私は東京だけ。

松：東京だけ。

タ：他の有名な都市、例えば大阪、だけ知っています。（大変？）です。

松：近いですよ。東京のすぐ。埼玉から東京に仕事に行く人とか、学校、大学に通ってる人とかとても多いですよ。

タ：そうですね。将来は、日本に行ったら、絶対。はい。行きたいです。

松：ぜひ。

タ：松田さんは、どこで、どこにお仕事を勤めていらっしゃいましたか。

松：日本で？

タ：日本の出身と同じ場所で

松：ああ、いいえ。東京の日本語学校です。

タ：日本語学校ですね。

松：はい。

タ：私は今年６月に卒業した後、日本語に、日本語だけ勉強したいです。

松：日本語だけ勉強したい？

タ：まだ大学院。まだ初めては日本語上手になる後、１年、２年仕事をした後は、また大学院に行きたいです。

松：あ〜日本に行って日本語勉強して、それから仕事を探して、

タ：時間とお金があったら、大学院に行きたいです。どんなことを。本当のことを勉強したいです。

松：本当のこと？

タ：今、今は、私の専門は東アジアの政治と経済を勉強しています。でも、たぶん将来は仕事をしたら、どんなことを本当に一生の仕事を勉強したいです。

松：ん？一生の仕事？大学院で

タ：大学院でどんなことを勉強したいを、まだ決めない。わかりませんですから。初めては日本語だけ勉強します。

松：え？仕事は日本で？日本の会社で働きたいんですか？

タ：チャンスがあったら。はい。これは楽しみです。はい。でも、日本に仕事を探しにくい？探すことは難しいですか。

松：ん〜。そうね。日本人も難しいからねえ。

タ：特に留学生は日本語をまだ上手ですから。たぶん日本人よりもっと難しい？

松：そうですね。

タ：先生、松田さんの日本語言語学校の名前は何ですか。

松：日本語学校の名前？

タ：はい

松：フジ国際語学院と言います。

タ：フジ。。。ああ、し、私は知ってます。

松：ああ、知っていますか。

タ：はい。先月はたくさん日本語学校をインターネットを

松：調べました？

タ：調べましたから。この名前見たことあります。

松：どんな学校でしたか。覚えていますか。

タ：まあ。すみません。はい。でも、フジ国際学校ですね。

松：フジ国際語学院。

タ：はい。たぶんとても有名ですね。

松：中国でたぶん有名だと思います。

タ：そうですね。それから、中国せいの学生多いですか。

松：中国人だけです。

タ：ああ、中国人だけですね。でも、ちょっと学生はすべて中国人ですから、学生達は中国語だけ話しますか。普通の生活

松：ああ、休み時間とかは中国語で話している学生も、もちろん

タ：これは、私はちょっと心配します。日本語学校に行ったら、たぶん中国語の学生だけでなくて、他の国の学生も一緒に日本語勉強することは楽しい。もっと楽しいです。

松：そうですね。ここにいると、いっぱいいろんな国の人がいるから、ねえ、日本に行って中国人の社会だけだったら、ちょっとつまらないかもしれない。

タ：はい。私は初めてアメリカに来た時は、１年間英語の言語学校を勉強しました。

松：言語学校？

タ：はい。英語だけ。アメリカの言語学校はいろいろな国の学生がありますから、とても楽しいです。みんなは英語はまだ上手じゃなくて、がんばって英語を練習して楽しいです。

松：そうですね。確かにそう。だから、私たちの学校は、たぶんみんな不安な人が中国語でいろいろ相談できるっていういい面もあるし、中国語、授業中もつい中国語が出て来ちゃうという悪い面もあるかもしれないですね。

タ：そうですね。でも、東京の日本語学校は、たぶん全部の言語学校はたぶん中国人の学生が一番多いですね。

松：どこにいても中国人は、いると思います。

タ：そうですね。

松：中国人と韓国人がやっぱり多いですね。

タ：はい。私は今、学校は決めたいですけど。でも、今は一番行きたい学校は早稲田文化館とう言語学校。松田さんは、この学校がご存知ですか。

松：いいえ、知りません。早稲田大学と関係がある学校ですか。

タ：いいえ。まだ。たぶん関係がありません。

松：ありません。

タ：と思います。

松：早稲田言語

タ：早稲田文化館

松：早稲田文化館

タ：浅草橋に

松：浅草橋。ふ〜ん。

タ：でも、たぶん東京の言語学校が一番多いです。たくさんがありますね。

松：ありますね。

タ：私はどこのサイトを見て、東京の言語学校は６２。日本語学校です。

松：６２ですか？もっとあると私は思ってたけど。

タ：もっと？

松：東京だけで？ああ、それなら。

タ：びっくりしました。たくさん留学生、毎年に。あ、先生。松田さん。先生と言って。大丈夫です。

松：何？

タ：あなたは日本語の先生ですから、先生をよべ、先生を話してもいいですか。

松：いいですよ。

タ：先生を、仕事をしている言語学校は毎年、留学生はいくらですか。新しい

松：新しい学生がどのくらい？

タ：はい。どのぐらい

松：あ〜っと、私たちの学校は３つ校舎があるんですけれども。

タ：違う場所？

松：違う場所に３つ。全部東京ですけども。３カ所学校があって、全部で１つの学年が６００人くらい。

タ：６００？毎年？

松：６００人くらい。

タ：ああ、大きい

松：うん。たぶん大きい学校だと思います。

タ：この学校の授業料が高いですか。どのくらいですか。

松：授業料は、たぶん他、みんな同じくらいじゃないかしら。どこも変わらない。

タ：１年間の授業料は、たぶん私の調べてのじょうは、１年間６３万から９５万まで。この中で。

松：たぶんそのくらいだと思います。

タ：たぶん授業料はだいたい同じです。

松：そんなに変わらないと思います。

タ：そうぎょうが強いですから。

松：そうぎょう？

タ：学校のそうぎょうが強い。

松：競争？

タ：競争。はい。が強いですから。

松：競争は、うん、たくさんありますね。はい。日本語学校は数はたくさんあるけれども、つぶれてしまう学校もいっぱいありますから。

タ：でも、日本語学校、日本語言語学校に行くの学生は、みんなは日本に日本に日本の大学と大学院も行きたいですか。私と同じで日本語だけ勉強する学生もありますか？

松：学校によって違うと思います。私達の学校は、ほとんど１００％近く大学と大学院進学する人たち。でも、他の学校だったら、韓国人が夏休みだけ３ヵ月間だけ来るとか。

タン：ああ、いいですね。

松：とか。入れ替わりが激しいかもしれないけれども、そういう学校もあると。

タ：はい。でも、先生は、私は１年だけ日本語を勉強するつもりですから。１年間日本語を勉強する。１年後は日本に住んでいます後、日本語は本当にすごく上手になりましたか。ちょっと心配しますね。

松：もちろんそれはタンさん次第だと思いますけど。

タ：はい。

松：と言っても、私の学校の学生は１年間だったら、もう十分しゃべれるようになっていると思います。たぶんタンさんのレベルだったら、最初に学校に来て、１年後には大学院に入れるレベルは十分あると思います。

タ：うれしいですね。はい。実は、私の両親はすぐに仕事に仕事を探してほしいですから、ほしいでるが、でも、私は仕事する前に日本語上手になりたいです。はい。ちょっと心配します。仕事をした後、日本語を忘れるかもしれません。

松：せっかくだったら大学院に行ったら？

タ：大学院は、でも、日本の大学院は２年ですね。

松：そうですね。

タ：はい。ちょっと。１年間日本語を勉強して、２年は大学院。3年ですね。ちょっと。たぶんもっと仕事の経験があるが、ある後、たぶん日本の大学院に行きたいです。違う学校の大学院に行きたいです。

松：違う学校？

タ：違う国。の学校勉強したいです。今はアメリカに勉強して、それで、その後、日本に勉強したいです。

松：なるほどね。そっか。１年間でどのくらい上手になるかは。

タ：はい。でも、でも、

タ：中国語の学生によると、中国人ですから、漢字はみんなたぶん読むことはやすいですね。一番難しいは、話すことかもしれません。私は時々日本語のサイトを使って、これはたぶん大丈夫です。でも、日本語をしゃべることは一番難しいです。

松：みんなそうですよね。中国人はリーディングがすぐ成績がいいから。

タ：はい。それで、いつと学校のことを話して、私の次は日本の日本の。実は、私は留学する前に日本のいろいろことを調べてました。例えば、日本の学校、日本の宿泊、日本のこうきゅう交通機関。次は私は日本の公きゅう交通機関についてお話したいと思います。はい。先生は、日本に住んでいる時は、車を運転していらっしゃいますか。

松：車ほとんど運転しなかったですね。

タ：はい。でも、今はサンディエゴにいら、サンディエゴに住んだ後、今は車は？

松：運転しています。いやいや。

タ：サンディエゴに住んで、車が運転できない人はどこにも行けないですね。

松：そうですね。車は大変ですね。

タ：はい。ここでたぶんサンディエゴより大きい、大きな都市だいじょうぶです。例えば、ロサンゼルスとサンフランシスコとニューヨークは大丈夫です。でもサンディエゴの公きゅう交通機関は、少し駅と路線がありますが、があって、待った時間も長いです。いつも３０分もバスを待っています。はい。

松：ね、大変ですよね。

タ：はい。私は最初の２年間はいつもバスを乗っていました。

松：今は車ですか。

タ：はい、今は車です。私の家はちょっと遅いです。

松：遅い？

タ：近いの反対は何ですか。

松：遠い？

タ：遠いです。はい。毎日は３０分を運転して。

松：３０分も運転してる？

タ：ちょっと大変です。サンディエゴの朝のこうきょうは悪いですから。  
松：渋滞しているんですか。

タ：はい。渋滞している。特別てきに朝７時の時。私のクラスは。日本語のクラスは朝８時ですから、７時はみんなは仕事を、仕事を会社に行く。はい。それで、東京に住んだら、一番便利は電車ですか。

松：電車ですね。もう。電車が。電車、地下鉄。

タ：でも、学生によると、自転車を自転車に乗ることをすすめですか。

松：どうして？

タ：ん〜、なんか学校から駅は長い時間を

松：学校から駅は長い時間？

タ：はい。学校から駅は遅いで、遅くて、これは不便ですか。

松：あのう、学校から駅までの距離が

タ：距離が長いで、長くて。はい。

松：歩くのがちょっと大変だから、自転車を使うってこと？

タ：うん。

松：ああ、そういう人も多いかもしれないですね。

タ：でも、私は牛田先生から聞いて。日本に自転車を乗る人も免許が必要ですか。

松：え？自転車の免許？

タ：免許、自転車、ないですか？いいえ？あ〜。でも、たぶん他の国、たぶん他の国は、オーストラリアは自転車を乗り人は免許が必要です。

松：ああそうなん。

タ：はい。ちょっとびっくりしました。中国に自転車を乗る人は免許は必要、必要じゃないですから。

松：ん〜

タ：でも、

松：日本のあれですよ。電車も大変ですよ。朝のラッシュとか。

タ：朝。ああ。でも、ほとんどの学生はどこに住んでいますか。学校の寮？

松：あ〜、中国はみんな学校の寮なんですよね。日本はそうじゃないと思う。学校の寮の人は少ないですね。自分の家族と一緒に住んでる人もいるし、地方から出て来た人は、アパート借りて一人で住んでる人もいる。

タ：東京に１人アパートに住んで、たぶんすごく高いですね。

松：高いです。

タ：それから寮は１人だけじゃない、じゃなくて、２つ、２人と一緒に住んでいますか。

松：そう。たぶん、私は寮に住んだことがないからちょっとよくわからないけど。たぶんそう。2人部屋とか。

タ：たぶん私は日本に行った後は、寮に住んでいることを考えは一番便利です。自分でアパートを探し、探すことは大変ですね。

松：そうですね。私の学生もみんな、あのう学校の寮に住んでいます。日本語学校の寮。で、それで、最初、寮で住んでいると、寮の中でいろいろ問題が起きてきたりすると、みんな自分でアパート探して、出る人もいるけれども。

タ：でも、寮にはいろいろ問題があります。

松：寮。寮の中で問題。

タ：あ〜

松：友達と

タ：私も知っている人と一緒にアパート住んでいて、いろいろ問題がありますね。

松：そうですね。

タ：家族で一緒に住んでいることと全然違います。同じ年齢ですから。はい。でも、日本に行くは、私は日本に旅行したい、旅行したったら、日本は外国人によると、旅館とホテルとどっちがいいですか。

松：外国人にとって旅館とホテルとどちらがいいか？それはやっぱり旅館じゃないかしら。

タ：旅館ですか。

松：ん〜

タ：でもちょっと心配しますね。

松：なんで？

タ：畳が畳が一度も、この日本の旅館が一度もたいかんすることじゃないから、ちょっと心配します。

松：ああ、今まで畳を体験したことないから、心配。

タ：はい。

松：体験したことないから、ぜひ体験ほうがいいですね。

タ：ああ、そうですね。はい。私はいつも日本に興味を興味があるが、一度も行けないないですね。ちょっと残念ですね。はい。

松：ぜひぜひ。

タ：実は、私はさいしゅ高校に卒業、高校を卒業した後、日本に留学したいです。

松：本当？

タ：はい。でも、両親はアメリカのほうがいい、いいですね。

松：ふ〜ん。どうして日本に留学したいと思ったんですか？

タ：はい、いつも子どもの時は日本のアニメと漫画をいっぱい見ることがあったら、いつも、はい、日本の文化興味があります。最近も日本のいろいろドラマを見ています。

松：アメリカで？

タ：はい。アメリカでも日本のドラマを見ています。はい。アメリカのドラマは長いですから、ちょっと時間がありません。はい。それで、あ、５分だけ。ちょっと。はい。それで、中国人の留学生によると、いつも行きたいの学校、大学はどこですか。

松：中国人の学生が行きたい大学？

タ：はい。例えば、東京の大学、他の都市の大学。

松：もちろん早稲田大学でしょう。

タ：たぶん中国に、理由はわかりませんですけど、でも、中国に一番有名な大学は早稲田大学です。２番目は東京大学です。理由がわかりませんですけど。

松：たぶんご両親がみんな知っているのが早稲田大学なんでしょう。

タ：はい。はい。たぶん昔、中国人の留学生が早稲田文化館、早稲田大学に行きましたから、これはたぶん伝統（てんとう）ですか。

松：今、すっごい多いですよ。もう早稲田大学、中国人だらけです。

タ：はい。

松：だから、ちょっとみんなが行くから、ちょっと早稲田大学の価値が下がってきているんじゃないかと私は思います。

タ：これは、私は本当にわかります。初めてUCSDに私はてん、てんしょう、転校生です。

松：ああ、転校生なんですか。

タ：最初の２年は他のコミュニティーカレッジ、他の大学に勉強します。それで、その後、UCSDに勉強を続けます。初めてUCSDに行く時は、本当にびっくりしました。たくさん中国人の学生ですね。

松：とても多いですよね。

タ：UCSDだけじゃなくて、カリフォルニアのUC学校は全部は同じです。はい。松：そうね。

タ：でも、これはいいことですか、悪いことですか、わかりませんね。

松：そうね。

タ：はい。ここはアメリカの大学ですけど、私の友達はすべて中国人です。はい。でも、日本に留学する学生はみんなは大学に行きたい人が多いですか。大学院に行きたい？どっちが多いですか。

松：ちょっと前までは大学に行きたい人が多かったんですけれども、最近は大学院に行きたい人のほうが増えてきました。

タ：どうしてですか。

松：ん〜、どうして？それは中国の社会が

タ：たぶん私の考える理由は仕事を探すことすごく難しいになりました。みんなは大学を卒業した後、仕事を探してなくて、そして、他の国に行く。私も同じですよ。

松：やっぱそう。今、大学を卒業した人が増えてきたでしょう。きっと。

タ：ふえて？

松：増える。大学を卒業した人が増えてきて、それで、みんな就職を選ばなかったら、仕事があるかもしれないけど。大学を卒業したんだから、いい就職をしたいと思う人が増えてきて。

タ：そうですね。

松：そうすると、就職できなくて。

タ：たくさんの人も大学の時、勉強のとき、専門は仕事を探すは、難しいですから。大学院の留学する時も、留学する時、専門を変わっています。

松：ん？留学するとき専門変わる？

タ：なんか、大学の時、勉強することと、大学院を勉強する時、全然違います。

松：タンさんのやりたいこと？

タ：私は今東アジアの政治と経済を勉強して、大学院はこの東アジア勉強を続けたいです。でも、政治と経済はどっちが興味を持っていますか、まだわかりませんです。

松：東アジアってのは決めてるんだけど、どっちかわからない。

タ：はい。ここでは東アジアの経済と政治は一緒に勉強しました。

松：私の学校に来ている学生も、自分の専門は何にしたいか決めていない学生が多いですよ。試験の間際になって「何をしよう、何をしたいのか」今さら考える人が多いけど、やっぱり目的を持って留学に行くほうが本当は一番いいと思います。

タ：そうですね。でも、日本に留学する学生は、みんなはほとんどどんな専門を選んだですか。

松：大学院の専門？

タ：はい。

松：まあ、ほとんど自分の大学の専門と同じとか。ちょっと関係がある。専門を変えるってのは、やっぱり難しいから、うん、大学４年間の基礎が全くない状態で大学院に進学するっていうのは、それはやっぱり難しい。

タ：難しいですね。はい。でも、私の知っている人は、友達です。アメリカの友達です。あの人は大学の時は、すうがつを勉強して。

松：数学？

タ：はい、数学を勉強して、でも、今はビジネス

松：ああ、でも、ちょっと関係あるのかもしれない。

タ：はい。たぶん。そうですね。

松：全然理系から文系になってるきが。。。

タ：でも、私はそのことを聞いたことがあります。日本に留学、日本に留学の中国人。

松：もいますよ。私の去年の学生も確かに数学専門で、その後ビジネスに変えて、MBA、大学院に。一橋かな。一橋のMBAに入った学生。でも、専門を変える学生はすのすごい勉強をしています。その日本語の勉強ももちろんそうだけど、専門の勉強も自分でいっぱいやって。

タ：そうですね。みんなは一生懸命勉強しますね。ちょっと心配します。アメリカの勉強。アメリカの大学は厳しいですけど、でも、東アジアのスタイルは全然違います。例えば、中国語、中国語の学校はきびしいです。アメリカの学校はあまり厳しくなくて、ちょっと心配します。日本の大学院に行ったら、プレッシャー。プレッシャーが重いです。かもしれません。

松：アメリカの大学は厳しくないですか？

タ：あ〜ん、わかりません。私は厳しくないと思います。

松：ああ、そうですか。ふ〜ん。

タ：試験が、試験のある時は厳しいですけど、普通の日は厳しくないと思います。

松：先生によるかもしれませんね。

タ：はい。たぶん他の人は違う考えです。

松：ああ

タ：たぶん私の専門の専門が他の人の専門によると、難しくない。もっと簡単と思います。他の人は例えば、政治と理科の学生は、はい。みんなは必死に勉強します。私はたぶん文化（？）

タ：はい。わかりました。それで、以上、今日はお忙しくてありがとうございます。

松：ああ

タ：今度またいろいろ教えてください。

松：はい